

TEL 233 340 000  
FAX 224 313 684  
Email Jschool@volny.cz

# VLTAVA

## 学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

## 目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

## ～朝会講話・海外に住む、プラハに住む～

今日は、校長先生の最近の出会いについてお話します。

**【伝えたいという気持ち】** チェコの田舎町に出かける用があった時のことです。物を入れる紙袋がほしくて、その町の雑貨屋さんに入りました。店のご主人は東洋系の方で、「紙袋はありますか」とたどたどしいチェコ語で聞くと、向こうからも話しかけられて握手をしました。私のチェコ語能力の理解範囲内では、「私はベトナムから来ました。あなたは日本人ですね。どこから来ましたか。」などと聞かれたようですので、同様にたどたどしく答えると、また質問が来て話が止まりません。でも、日本人であることをとても珍しがって、かつ喜んでくれたことは事実で、紙袋は結局ただでもらうことになってしまいました。

その町のその夜の食事の時に、チェコの男性にまたチェコ語で話しかけられました。話の中で「千代の富士」と言う単語を頼りにたどたどしく会話を続けていると、どうやら大相撲千秋楽の表彰式で優勝力士にボヘミアングラスを渡した人のようです。その場に居合わせた人に、たぶん在日チェコ大使かもしれないと言われました。ここでも、日本人であることを喜んでくれて、そして日本人であるあなたと「仲良くしましょう」というメッセージを感じました。こちらがチェコ語をわからなくても、彼らが伝えたいのは「仲良くしましょう」というメッセージだったと思います。そして、日本人であることを幸せに感じました。勤勉で礼儀正しい日本人であり続けたいと思いました。皆さんの文集である菩提樹には、私のような経験がたくさん書かれていて、みんな同じ結論に至っています。つまり、「言葉の問題は、うまく話せるかではなく、相手に何かを伝えたいという気持ちの方が大切である」と。これって、とてもポジティブな考え方ですね。英会話の授業の時に、ある生徒に「先生、困ったって英語の単語教えてください」と質問されたのですが、私は「その単語を知らなくても、困っている状況を知っている単語を使って伝えてみれば」と答えました。前向きに伝えようという気持ちの方が大切だと思うからです。電車が遅れると日本では「電車が遅れて申し訳ございません」とアナウンスが流れますが、海外では「すみません」は聞いたことがなくて、ほとんどの場合が「Thank you for waiting」つまり「待っていてありがとう」が使われます。(笑) うーん、なんて前向きでしょうか。英語がだめでも「ごめんなさい、英語が上手じゃなくて」ではなく「ありがとう、話を聞いてくれて」のほうがいいのか。

**【プラハの魅力】** 皆さんはプラハと言う素敵な街に住んでいます。プラハは、ヨーロッパの人々さえもがあこがれて観光旅行に訪れる街です。ましてや、日本の人たちからはプラハに住んでいることを誰からもうらやましく言われます。ここは古くから、「黄金のプラハ」「百塔の街」「東欧の心臓」と語り伝えられる、日本で言えば京都のような街です。この街は、観光名所だけでなく、ちょっと旧市街を歩くだけで、たくさんの発見があります。この街に住んで、この街で生活ができるという幸運を大切に、ぜひ、チェコの魅力、そしてプラハの魅力に触れてほしいと思います。